

## 警告

### <アルカリ電池について>

- (1)ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- (2)万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

### <梱包用ポリ袋について>

ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

## 液晶パネルについて

見る方向により表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。

温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなることがあります。

温度が高くなるとパネルの色が黒くなり、判読できなくなることがあります。

液晶パネルが破損した場合、ガラスおよび中の液晶には十分注意してください。

万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

皮膚に付着した場合  
付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。

目に入った場合  
きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。

飲み込んだ場合  
水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

## 注意

### <時計の設置場所について>

落下や転倒により、けがおよび器物を破損する恐れがありますので、振動のある所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

## 注意

### <電池について>

- 下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。
- (1)⊕ ⊖を正しく入れてください。
  - (2)製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていてもすべて指定の新電池と交換してください。また、時計を使わないときは電池をすべてはずしてください。電池の一部の交換や、電池を入れたままにしておく、他の部分の止まりや古い電池からの液漏れ等で時計や、周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
  - (3)この電池は充電式ではないので充電すると液もれ、破損のおそれがあります。
  - (4)電池に直接ハンダ付けしたり、水滴をつけないでください。
  - (5)直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。また使用済みの電池は、速やかに処分または幼児の手の届かないところに保管してください。
  - (6)時計が動かない等の場合、電池端子が汚れている場合があります。やわらかい布などでクリ-ニングしてください。
  - (7)添付の電池は工場出荷時より付けられています。時計の電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。

## 製品仕様

精 度	：平均月差±20秒 (電波受信による時刻修正を行わない場合) (気温5 から35 で使用した場合)
表 示 精 度	：±1秒(時分針は±3度) (電波受信による時刻修正を行なった直後)
使用温度範囲	：-10 ~ +50 (ただし液晶表示判読可能温度範囲0 ~ +40 )
使用電池	：単3アルカリ乾電池3個(JIS規格LR6)
電池寿命	：約1年 (アラームを音量中で1日につき30秒間使用した場合)
電波受信機能	：自動受信(1日8回) (受信から次の受信まではクオ-ツの精度で動いています。) 手動受信(強制受信) 40kHz, 60kHzのいずれか受信しやすい電波を自動受信します。
アラ-ム	：電子音メロディ (約5分間オートストップ)
液晶表示	：アラーム時刻表示

上記の製品仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

## 保証・アフターサービス

この時計はメーカー保証です。保証の内容については別添の保証書をご覧ください。尚、保証書は日本国内のみ有効です。また、アフターサービスも海外ではできません。保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買上店がお預かりしメーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。

この時計の修理用部品は、3年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買上店とよくご相談ください。修理のとき、部品・その他の付属品は、-部代替部品を使用させていただきます。保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛り費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買上店にお持込みいただけます。修理を依頼されるときはお買上店にご持参ください。

ご不明の点はお客様センターにお問い合わせください。

# SEIKO

## 目ざまし時計

### 取扱説明書

## 電波クロック

このたびはセイコークロック商品をお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、予告なしに変わることがあります。印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が、実際の表示と異なる場合があります。この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなら責任を負いません。この取扱説明書を製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号(品番)をご確認のうえ、セイコークロック(株)お客様センターにお問い合わせください。

(例：AM、PW、KG など)

フリーダイヤル  
お客様センター ☎ 0120-315-474 ☐

<http://www.seiko-clock.co.jp>

発売元

## セイコークロック株式会社

① 説明書番号 AQM-015K

## 故障かな?と思ったときには▶

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。なお電池は買い置き品でなく、新規購入品をご使用ください。

症 状	考えられる原因	処 置
針が動かない	・電池が入っていない。 ・電池が正しい向きで入っていない。 ・電池端子および接片の汚れ。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。 ・電池端子および接片の表面を拭いてください。また、電池を入れて2-3回まわしてください。
針が不規則に動く	・受信中または時刻修正中である。	・受信終了後、通常の運針に戻ります。
秒針が「12時の位置」で停止している。	・秒針停止機能が動作している。(7秒針停止機能参照) ・自動受信中である。	・室内を明るくすると秒針が動き始めます。 ・受信が終了すると秒針が動き始めます。
スイッチ操作が効かない	・受信に成功し、時刻修正中である。 ・リセット後、受信動作中である。	・時刻修正動作が終了してから、再度スイッチ操作をしてください。
時刻が合っていない	・受信が成功していない。 ・電池が古くなっている。 ・きちんとリセットされていない。	・「電波クロックについて」をお読みになり、再度受信させてください。 ・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。 ・確実にリセットボタンを押してください。
アラームの音が鳴らない	・鳴り止めボタンがOFFになっている。 ・静電気等による誤動作。	・鳴り止めボタンをONにしてください。 ・電池を入れ直してからリセットボタンを押してください。
アラーム時刻になったら針が止まった。	・電池の容量が少なくなっている。	・新品電池と交換してください。

## 必ずお読みになってからご使用ください。使用場所・お手入れ▶

### 使用場所について

下記のような場所では使わないでください。

機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また本商品は業務用ではありません。



暑い場所(+50以上)

温度が+50(50度)以上になる所や直射日光のあたる所。  
例えば、屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。



寒い場所(-10以下)

温度が-10(氷点下10度)以下になる所。  
[プラスチック部品や電池の劣化が起きることがあります。]  
お 塵、埃の多い所。  
[空気中に舞い上がったごみが歯車や接点に挟まって時計が止まったり、音が鳴らなくなる可能性があります。]



振動の激しい場所

大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。  
[磁力の影響で進み、遅れを生じたり、時計が止まる可能性があります。]



湿気の多い場所

浴室など湿気の多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所。  
振動のある所。不安定な所。  
工場、台所など多くの油を使用する所。  
[霧状になった油分が機械の歯車等に付着し時計が止まる可能性があります。]

### お手入れについて

長くご愛用いただくために、2・3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめいたします。販売店にご相談ください。

ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。  
[お掃除剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。変色、傷の恐れがあります。]

#### プラスチック枠の時計の場合

枠をふくときは、湿った、やわらかい布でふいてください。  
よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾ばきしてください。

#### 木枠・金属枠の時計の場合

よごれやほこりをとるときは、やわらかい布で乾ばきしてください。

お客様が分解しますと、修正不可能になる場合やけがの恐れがあり大変危険です。また保証の対象外となりますのでご注意ください

# 電波クロックについて

## 電波時計 / 電波修正機能とは

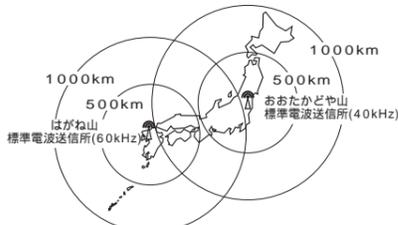
正確な時刻およびカレンダー・情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

## 標準電波とは

通信総合研究所が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ『セシウム原子時計』によるものです。

## 電波受信について

各々の送信所からの受信範囲の目安は、条件により異なりますがおおむね1000km~1200kmです。個別の状況により異なりますが、東日本地域は40kHz(福島送信所)、西日本地域は60kHz(九州送信所:福岡・佐賀の県境)の電波がより受信しやすいものと想定されます。この製品は40kHz, 60kHzのいずれかを受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。



## ご注意

電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できない事があります。このような時は、場所を変えてお使いください。

電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で計時します。

標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、通信総合研究所(CRL)のホームページをご覧ください。お客様センター - お問い合わせください。(ホームページアドレス <http://jjy.crl.go.jp>)

## 使用場所について

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。また、電波ノイズを発生させるものの近くでのご使用は避けてください。その他、次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。

- a) ビルの中、ビルの谷間、地下。
- b) 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
- c) テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
- d) 工事現場、空港の近く、軍事基地や交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
- e) 乗り物の中(自動車、電車、飛行機など)
- f) スチール机等の金属製の家具の上や近く。



## 液晶部表示

### アラームマーク

「アラームスイッチ」が「ON」のとき点灯し「OFF」のとき消灯します。



### 受信マーク

標準電波の受信状態を表示します。標準電波の受信中または24時間以内に受信が成功すると点灯します。

### アラーム時刻

## ご使用方法

ご使用の前に、表示部の透明シールをゆっくりはがしてください。

## 1. 電池を入れる

### 単3アルカリ乾電池3個

- (1) 時計底面の電池ぶたをはずして電池ホルダーに電池を入れてください。電池は(+)(-)表示に合わせて入れてください。
- (2) リセットボタンを押してください。(ボールペンの先などで押してください。) 時分針が動き出し、下記時刻のいずれかで一時停止し、受信を開始します。(1:50, 3:10, 5:50, 6:10, 8:30, 9:10, 11:10, 12:10) 注) 電池交換時は、必ずリセットボタンを押してください。
- (3) 本機を使用したい場所に置いてください。この際、窓際などできるだけ受信しやすい場所に置いてください。受信中は受信マークが変化します。(最長約20分間)

この際、窓際などできるだけ受信しやすい場所に置いてください。

受信中は受信マークが変化します。(最長約20分間)

・九州送信所からの電波を受信している場合「W」が点灯します。

・福島送信所からの電波を受信している場合「E」が点灯します。

(点滅中は受信状態の良好な周波数を選択しています。)

受信に成功した場合

受信マークが点灯し、液晶部に現在時刻を表示します。その後自動的に

針を現在時刻に合わせます。

針が合った後、液晶部はアラーム時刻表示に切り

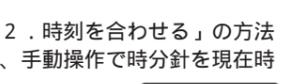
替わります。



受信できなかった場合

受信マークが消灯し、時計が動き始めます。

このとき時分針の時刻修正は行いません。「2.時刻を合わせる」の方法にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時分針を現在時刻に合わせてください。



## 2. 時刻を合わせる

### 2.1 電波を強制的に受信して時刻を合わせる

時計裏面の「受信ボタン(Aボタン)」を2秒以上押し続けると受信を開始します。受信に要する時間は最長約20分間です。

受信中は針が停止します。

受信できない場合は、場所を変えてもう一度受信させてください。

詳しくは「電波クロックについて」をお読みください。

また1日のうちで夜間のほうが昼間にくらべて比較的受信状態が良くなりますので、受信できなかった場合でも一昼夜置いておくと「3.自動受信」により、受信できる場合があります。

### 2.2 手動で時刻を合わせる

標準電波を受信できない場合は、手動で時刻を合わせることができます。

- (1) 時計裏面の「モードボタン(Bボタン)」を2秒以上押し続けてください。秒針が12時の位置で止まり、アラーム時刻表示が現在時刻表示に切り替わります。時刻を合わせている間は、針は停止しています。
- (2) 時計裏面の「進む/戻るボタン」で、時刻を合わせてください。「進む/戻るボタン」を押し続けている間は早送りします。時刻を変更した場合は、受信マークが消灯します。
- (3) 時刻合わせが終了しましたら「モードボタン(Bボタン)」を押してください。秒針が動きはじめ、時分針を自動的に修正します。(この間は現在時刻を液晶部に表示します。)



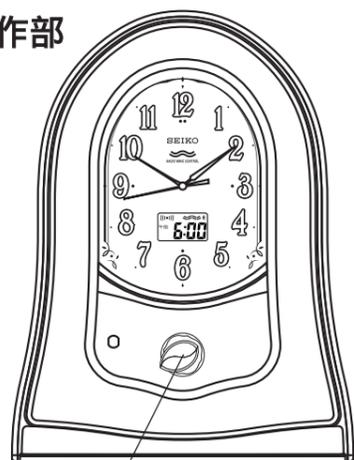
【通常表示】  
普段はこの表示でお使いください。



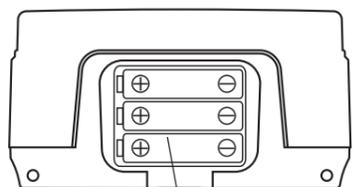
【時刻合わせ表示】  
「進む/戻るボタン」で時刻を合わせてください。

- (3) 時刻合わせが終了しましたら「モードボタン(Bボタン)」を押してください。秒針が動きはじめ、時分針を自動的に修正します。(この間は現在時刻を液晶部に表示します。)
- 約5分以上ボタンが押されなかった場合は、自動的に通常表示に戻ります。時刻を変更している間は、アラーム時刻になってもアラームは鳴りません。

## 操作部

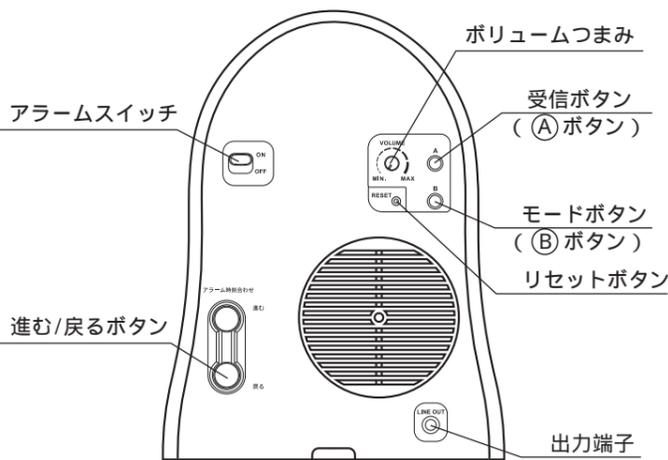


曲切替ダイヤル



単3アルカリ乾電池 3個

時計により外観は異なりますが操作方法は同じです。



ボリュームつまみ

アラームスイッチ

受信ボタン (Aボタン)

モードボタン (Bボタン)

リセットボタン

進む/戻るボタン

出力端子

### アラームスイッチ

・アラームON/OFFの切り替えができます。

### 進む/戻るボタン

・アラーム時刻または現在時刻を合わせるときに使用します。

### 受信ボタン(Aボタン)

・2秒以上押し続けると、標準電波の受信を開始します。

### モードボタン(Bボタン)

・現在時刻を手動で合わせるときに使用します。

### リセットボタン

・乾電池を入れ替えた時は必ず押してください。

### 出力端子

・オーディオ機器に接続してオーディオ機器のスピーカーから曲を聴くことができます。

## 3. 自動受信

- (1) 毎日8回、自動で受信を行いません。
- (2) 受信に成功すると現在表示している時刻を修正します。受信中(最長約20分間)は針が不規則な動きをすることがあります。
  - ・秒針: 12時の位置で停止
  - ・分針: 約30秒ごとに運針

## 4. アラームを鳴らす

### アラーム時刻を合わせる

- (1) 「通常表示」の状態では、時計裏面の「進む/戻るボタン」を押してください。アラーム時刻が点滅し、アラーム時刻合わせの状態になります。
- (2) 「進む/戻るボタン」を押して、アラーム時刻を合わせてください。約5秒間「進む/戻るボタン」が押されなかった場合は、自動的にアラーム時刻が確定し「通常表示」に戻ります。

### 設定した時刻にアラームを鳴らす

時計裏面の「アラームスイッチ」を「ON」にしてください。

表示部にアラームマーク((••))が点灯します。

アラーム設定時刻になるとアラームが鳴ります。

### アラームを止める

「アラームスイッチ」を「OFF」にしてください。アラームが止まり、アラームマーク((••))が消灯します。また、アラームは約5分で自動的に止まります。(オートストップ機能) この場合アラームマーク((••))は点灯しつづけたままとなり、翌日の設定時刻に再びアラームが鳴ります。



## 5. アラーム音(曲)を選択する

曲は全部で6曲あり、「曲切替ダイヤル」により曲1~曲6を選択します。

「曲切替ダイヤル」をポジション1~6に合わせると、各々曲1~6が選択され、ポジション⑥に切替えると、切替える毎に曲1~6が順選りに選択されます。

アラーム時には選択された曲が演奏されますが、ポジション⑥ではアラームが鳴る毎に次の曲が選択されます。

電池を入れた直後にポジション⑥に切替えると、曲1が選択されます。

## 6. 音量を調節する

「ボリュームつまみ」を回してお好みの音量に調節してください。

### 試し鳴らし(モニター)

「曲切替ダイヤル」を回すと、曲を一回演奏します。

試し鳴らし中に「アラームスイッチ」をON(上側)からOFF(下側)に切替えると、曲が止まります。

## 7. 秒針停止機能

光センサーにより明るさを検出し、暗くなると秒針を「12時の位置」まで早送りし、停止します。

夜間などに秒針の音を気にすることなくおやすみになれます。

明るくなると正しい時刻まで秒針が早送りし、その後通常運針に戻ります。

明るさが約1ルクス以下になると秒針が停止しますので、照明をつけている場合でも時計周辺の光量により、秒針が停止することがあります。

秒針が停止している間でも、時分針は正しい時刻を表示しています。

## 8. 電波受信を止める

この時計には自動受信を止める機能があります。

(誤受信の防止や、設定時刻をずらしてお使いになりたい場合などにご使用ください。)

- (1) 電池を入れてリセットボタンを押した後に、受信ボタン(Aボタン)を受信マークが消えるまで約7秒押し続けてください。
- (2) 秒針が動き出したら、左記2.時刻を合わせる 2.2 手動で時刻を合わせる」にしたがって時刻を合わせてください。

この機能を設定した後も受信ボタン(Aボタン)を受信マークが点灯するまで(約2秒)押し続けると強制受信を開始しますが、その後自動受信はしません。

この機能を解除するには、リセットボタンを押してください。

注 通常ご使用の状態では自動受信を止めるには、受信ボタン(Aボタン)を受信マークが点滅し、その後消灯するまで約7秒押し続けてください。

### 【ご注意】

・電池の残量が少なくなると、ボリュームの位置により音程が変わる場合があります。

・このような場合は、すべての電池を新しい電池に交換してください。

・この製品には、マイコンが内蔵されています。静電気等により誤動作することがありますが、故障ではありません。「故障かな?と思ったときには」をご覧ください。

### 出力端子(LINE OUT)について

モノラルタイプの3.5mmミニプラグをご使用ください。

時計本体の出力端子用カバーを外してください。

時計本体の出力端子をオーディオ機器などの入力端子(LINE IN、AUXなど)に接続してください。

マイク、PHONO入力端子には接続しないでください。

音量調節は時計本体のボリュームつまみも有効です。

オーディオ機器と接続中は、時計本体の電池を抜き差ししないでください。